



SCB

ニュース&トピックス

No.2025-45

(2025. 7. 29)

信金中央金庫 地域・中小企業研究所

とね かずゆき
上席主任研究員 刀禰 和之

03-5202-7671

s1000790@FacetoFace.ne.jp

信用金庫の金融業・保険業向け貸出残高

ポイント

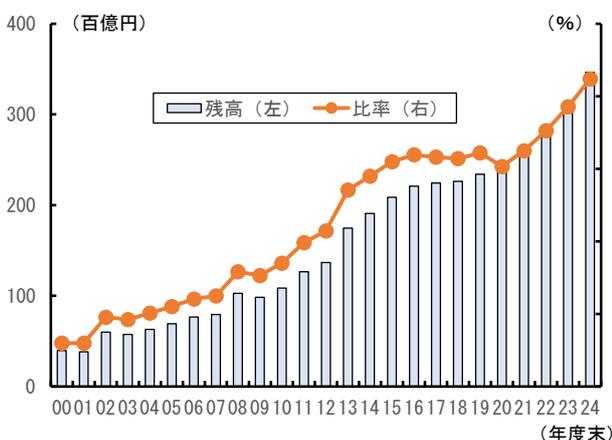
- 2024年度末の金融業・保険業向け貸出残高は、前期比11.5%、3,586億円増加の3兆4,645億円となり、15年連続で前年度末を上回った。
- 2000年度末の残高と比較すると8.7倍に達し、貸出金残高の伸び(23.4%増)だけでなく地公体向け貸出の伸び(4.6倍)をも大きく上回って推移している。
- 2024年度末の地区別の金融業・保険業向け貸出残高は、全11地区で前期比増加し、なかでも北陸、東海、四国、南九州の4地区では2桁増となった。
- 2024年度末の信用金庫別の金融業・保険業向け貸出比率(構成比)は、①2%未満が26.7%、②2%以上10%未満が55.1%、③10%以上は18.1%となった。

1. 全国の状況

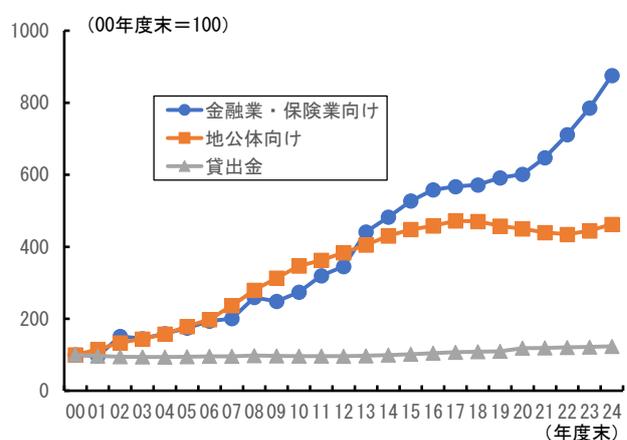
2024年度末の信用金庫の金融業・保険業向け貸出残高は、前期比11.5%、3,586億円増加の3兆4,645億円となり、15年連続で前年度末を上回ると同時に過去最高を更新した(図表1)。近年、資金運用の一環として金融業・保険業向け貸出を取り扱う信用金庫が増えており、つれて残高の急増がみられる。貸出金残高に占める比率も2000年度末の0.5%から2024年度末には4.2%となったが、この水準は小売業向け貸出(2024年度末の比率は3.7%)を超える状況にある。

2000年度末の残高と比較すると8.7倍に達し、貸出金残高の伸び(23.4%増)を大きく上回って推移している(図表2)。地公体向け貸出と比べても伸び率は高く、足元では3.0%増(2020年度末)→3.2%増(2021年度末)→3.5%増(2022年度末)→3.8%増(2023年度末)→4.2%増(2024年度末)と増勢が顕著である。

(図表1) 金融業・保険業向け貸出残高の推移



(図表2) 地公体向け貸出残高等との推移比較



(備考) 図表1から4まで信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 地区別の状況

2024年度末の地区別の金融業・保険業向け貸出残高は、全11地区で前期比増加し、なかでも北陸、東海、四国、南九州の4地区で2桁の増加となった（図表3）。地区別の比率では北陸（10.1%）が1割を超え、東北の9.2%がそれに続く。また2000年度末の残高と比べると、北陸、東海、東北、近畿で10倍超に達する。

（図表3）地区別の金融業・保険業向け貸出残高

（単位：百億円、%）

地区	00年度末	10年度末	20年度末	23年度末	24年度末	00年度末比		00年度末比率	23年度末比率	24年度末比率
						増減額	増減率			
北海道	4	9	9	10	11	6	143.1	1.5	3.0	3.0
東北	1	5	18	23	25	23	1,355.8	0.7	8.5	9.2
東京	6	8	25	34	37	31	504.3	0.4	2.1	2.3
関東	5	26	36	43	47	41	723.6	0.4	2.9	3.1
北陸	0	2	7	14	18	17	1,836.9	0.4	8.3	10.1
東海	4	22	48	72	83	79	1,781.9	0.3	4.3	4.9
近畿	8	19	67	82	92	83	925.1	0.6	4.7	5.2
中国	1	5	13	14	14	13	737.3	0.5	4.0	4.1
四国	1	3	5	6	7	6	656.3	0.9	5.5	6.0
九州北部	1	2	4	5	5	3	305.2	1.0	3.4	3.4
南九州	2	2	1	2	2	0	14.3	1.5	1.5	1.7
全国	39	108	237	310	346	306	775.9	0.5	3.8	4.2

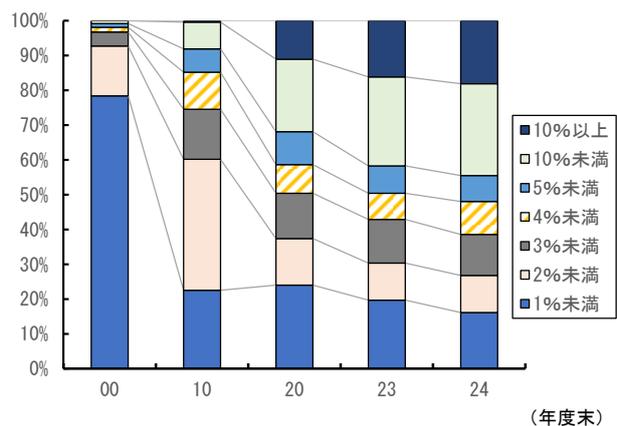
（備考）沖縄県は全国に含む。

3. 信用金庫別の状況

2024年度末の信用金庫別の金融業・保険業向け貸出比率（構成比）は、①2%未満が26.7%（68金庫）、②2%以上10%未満が55.1%（140金庫）、③10%以上は18.1%（46金庫）となった（図表4）。比率の平均は4.2%だが、中央値でも4.1%となった。また比率が20%を超える信用金庫が9金庫あり、その所在地区を確認すると東北3、北陸2、近畿1、中国2、四国1となる。

2000年度末の構成比と比較すると、1%未満の割合が78.4%（291金庫）から16.1%（41金庫）に低下する一方で、10%以上が0%（なし）から18.1%（46金庫）に上昇している。

（図表4）信用金庫別の金融業・保険業向け貸出比率（構成比）



本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。